

線形代数学・同演習 A

演習問題 2

1.† 2 次正方行列 A, B に対して, $\det(AB) = \det(A)\det(B)$ が成り立つことを証明せよ.

2.† $A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ に対して, 次の恒等式が成り立つことを示せ*¹.

$$A^2 - (a+d)A + (ad-bc)E_2 = O.$$

3. 行列のブロック分割を利用して次の行列の積を計算せよ.

$$(1) \begin{pmatrix} 2 & 0 & 0 \\ 0 & 3 & 2 \\ 0 & 4 & 3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 4 & 0 & 0 \\ 0 & 6 & -2 \\ 0 & -8 & 3 \end{pmatrix} \quad (2) \begin{pmatrix} 2 & -5 & 0 \\ -1 & 3 & 0 \\ 2 & -5 & 2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 3 & 5 & 0 \\ 1 & 2 & 0 \\ 0 & 1 & 2 \end{pmatrix}$$

4. 次の行列に逆行列があれば, それを求めよ. ただし, θ は任意の実数とする.

$$(1) \begin{pmatrix} 2 & -1 \\ -1 & 2 \end{pmatrix} \quad (2) \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 2 & 4 \end{pmatrix} \quad (3) \begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 0 & 3 \end{pmatrix} \quad (3) \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix}$$

5. 次の行列が正則行列となるための a の条件を求めよ.

$$(1) \begin{pmatrix} a & 0 \\ 3 & a \end{pmatrix} \quad (2) \begin{pmatrix} 2a & 3 \\ 1 & 1 \end{pmatrix} \quad (3) \begin{pmatrix} 1 & 1 \\ 1 & 1+a^2 \end{pmatrix}$$

6. 2 次一般の対角行列は $\begin{pmatrix} a & 0 \\ 0 & b \end{pmatrix}$ ($a, b \in \mathbb{R}$) のように書くことができる. 2 次一般の上三角行列, 下三角行列, 対称行列および交代行列をそれぞれ同様に表せ.

7. 3 次の対角行列, 上三角行列, 下三角行列, 対称行列および交代行列についてもそれぞれ同様に表せ.

8.† 2 次正則行列で $A^{-1} = {}^tA$ をみたすものを求めよ.

9. 2 本のベクトル $x = {}^t(1, 0, 1)$, $y = {}^t(2, -1, -2)$ に対して, 次の二つの積を計算せよ.

$$(1) {}^txy \quad (2) x {}^ty$$

10.† 次の条件を満たす 2 次正方行列 A は存在するか.

$$(1) A \neq O \text{ であるが } A^2 = O \quad (2) A^2 = E_3 \text{ かつ } A^3 = O$$

$$(3) A \neq E_2, O \text{ かつ } A^2 = A$$

4 月 18 日分 (凡例: 無印は基本問題, † は特に解いてほしい問題, * は応用問題)

講義用 HP: <http://www2.math.kyushu-u.ac.jp/~h-nakashima/lecture/2017LA.html>

*¹ Cayley-Hamilton の定理と呼ばれている.